



Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

No. 13

平成29年1月16日

編集・発行

学校支援課 広報担当

特集 幼児教育と小学校教育をつなぐ ～スタートカリキュラム編成について～

年が明け、各小学校では、4月に入学する子どもたちを迎える準備が進められていることと思います。大きな期待と夢を抱いている子どもたちが、小学校生活を円滑にスタートできるように、スタートカリキュラムについて特集します。

～スタートカリキュラムとは～

小学校へ入学した子どもが、幼稚園・保育園・認定こども園などでの遊びや生活を通じた幼児期の学びと育ちを基盤として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

幼児教育

- ・ 5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）を総合的に学んでいく教育課程
- ・ 子どもの生活リズムに合わせた1日の流れ
- ・ 身の回りの「人・もの・こと」を教材として、遊びを中心に総合的に学んでいくための環境構成など

学びの芽生え

自覚的な学び

小学校教育

- ・ 各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程
- ・ 時間割に沿った1日の流れ
- ・ 教科書を主たる教材として系統的に学ぶために工夫された学習環境など

スタート
カリキュラム

～スタートカリキュラム編成のためには園での生活を知る必要があります～

園での生活

を通じた学びの芽生え

身の回りの「人・もの・こと」を教材に総合的に学んでいくための環境構成

① 幼児の発達段階や実態を考慮し、意図的・計画的に環境を構成したり、素材や教材を工夫したりして、幼児の自覚的な遊びを促します。

園庭での遊びの様子

砂場での遊びの様子

③ たくさんの遊びを通して、身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり考えたりして、それを生活に取り入れようとしています。

② 感触を楽しみながら砂や水の性質に気付いたり、いろいろ試したりしながら遊びます。



園での生活

を通した学びの芽生え

④「いらっしゃいませ」「ドーナツください」自分がやりたいお店を考え、準備もお客さんのお世話も自分たちでします。

⑤「くじをするとお客さんが来るかな・・・」友達と楽しく活動する中で共通の目的を見出し、工夫したり、協力したりする経験をしていきます。

お店屋さんごっこの様子



文字や数に対する意識

⑥遊びや生活の中で、文字や数などに親しむ経験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりして、必要感に応じてこれらを活用するようになります。



スタートカリキュラム編成のポイント

自覚的な学びを促し、小学校へつなぐ

一人一人の子どもの成長から編成する

実際に保育園や幼稚園を訪問し教職員と意見交換をしたり要録等を活用したりして、幼児期の学びと育ちの様子や指導の在り方を生かして一人一人の子どもの個人差を意識したスタートカリキュラムを編成します。

時間割や学習活動を工夫する

入学時の子どもは、小学校での学習に憧れをもっている一方、長時間じっと座って学習することが難しく、体全体を使って学ぶ傾向があります。このような入学間もない時期の子どもの学びの特徴を踏まえ、20分や15分程度のモジュールで時間割を構成したり、体を動かすなど、活動性のある学習活動を行ったりするよう工夫します。

合科的・関連的な指導の充実を図る

自分と身の回りの環境や生活との関わりを通して総合的に学ぶ子どもの特性を踏まえ、合科的・関連的な指導の充実を図ります。

安心して自ら学びを広げる学習環境を整える

子どもが安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるように学習環境を整えます。



教室の背面や側面を活用して学びのきっかけをつくる。



参考資料

「スタートカリキュラムスタートブック」を有効に活用してください。平成27年1月に国立教育政策研究所より各校に配布



教師との距離について配慮する。